



山形県感染症発生動向調査

平成28年第13週(3月28日～4月3日)

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)
 TEL.023-627-1109, FAX023-641-7486
 URL <http://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/>
 2016年4月5日 発行

<定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

※ :警報レベル

 :注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県) 第1~13週
	第12週	第12週	第13週	増減	第12週	第13週	増減	第12週	第13週	増減	第12週	第13週	増減	第12週	第13週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)		(48)			(20)			(5)			(10)			(13)			
インフルエンザ	68369 13.81	973 20.27	704 14.67	▼	418 20.90	301 15.05	▼	77 15.40	64 12.80	▼	265 26.50	160 16.00	▼	213 16.38	179 13.77	▼	11869
小児科定点 (定点医療機関数)		(30)			(13)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	624 0.2		1 0.03	△		1 0.08	△										37
咽頭結膜熱	674 0.21	9 0.30	10 0.33	▲	2 0.15	2 0.15		3 1.00		▽	2 0.33	5 0.83	△	2 0.25	3 0.38	△	160
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	6326 2	111 3.70	105 3.50	▼	73 5.62	60 4.62	▼	4 1.33	1 0.33	▽	18 3.00	23 3.83	△	16 2.00	21 2.63	△	2660
感染性胃腸炎	15396 4.88	160 5.33	143 4.77	▼	56 4.31	49 3.77	▼	14 4.67	5 1.67	▽	39 6.50	50 8.33	△	51 6.38	39 4.88	▼	3409
水痘	1013 0.32	8 0.27	11 0.37	△	7 0.54	11 0.85	△				1 0.17		▽				199
手足口病	78 0.02																10
伝染性紅斑	908 0.29	35 1.17	37 1.23	△	9 0.69	10 0.77	△	2 0.67	2 0.67		1 0.17	5 0.83	△	23 2.88	20 2.50	▼	890
突発性発しん	1080 0.34	9 0.30	15 0.50	△	3 0.23	4 0.31	△	3 1.00	3 1.00		1 0.17	7 1.17	△	2 0.25	1 0.13	▼	222
百日咳	20 0.01	1 0.03	1 0.03		1 0.08	1 0.08											3
ヘルパンギーナ	45 0.01																
流行性耳下腺炎	2532 0.8	88 2.93	75 2.50	▽	2 0.15	5 0.38	▲	4 1.33	7 2.33	△	66 11.00	50 8.33	▽	16 2.00	13 1.63	▽	743
眼科定点 (定点医療機関数)		(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	6 0.01																
流行性角結膜炎	319 0.47																11
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	260 0.55		1 0.10	△		1 0.25	△										4
クラミジア肺炎	4 0.01																4
マイコプラズマ肺炎	165 0.35																34
細菌性髄膜炎	4 0.01																
無菌性髄膜炎	14 0.03	1 0.10		▽										1 0.33		▽	4

<全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
結核	患者	1		1		
	患者	1				※第12週追加報告分。
	無症状病原体保有者	1				
侵襲性肺炎球菌感染症	患者			1		肺炎球菌ワクチン接種歴不明。
梅毒	患者	1				※第5週追加報告分。

<通信欄>

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

< 定点把握感染症 報告患者数 年齢別 >

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ	2	14	29	44	43	55	56	56	58	50	32	84	12	15	
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79	80歳～									合計
	43	24	30	30	14	13									704
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症			1												1
咽頭結膜熱		1	2	3	1		2					1			10
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1		2	10	11	11	19	11	8	6	9	12	1	4	105
感染性胃腸炎	4	4	26	15	18	16	7	11	4	8	9	14	1	6	143
水痘				1	1	4	2	2				1			11
手足口病															0
伝染性紅斑			1	2	3	6	9	8	1	2	2	3			37
突発性発しん		6	7	2											15
百日咳												1			1
ヘルパンギーナ															0
流行性耳下腺炎			1	7	11	11	19	15	3	3	2	3			75

< 平成28年2月 月報 >

2016年3月15日作成

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～2月
	1月	2月	1月	2月	1月	2月	1月	2月	1月	2月	
STD定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)		
性器クラミジア感染症	報告数 17	20	8	4	6	11	2	3	1	2	37
	定点当り 1.70	2.00	2.00	1.00	6.00	11.00	1.00	1.50	0.33	0.67	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数 4	2	2		1		1	2			6
	定点当り 0.40	0.20	0.50		1.00		0.50	1.00			
尖圭コンジローマ	報告数 2	2	1		1	1	1	1			4
	定点当り 0.20	0.20	0.25		1.00	0.50	0.50				
淋菌感染症	報告数 1	1	1	1							2
	定点当り 0.10	0.10	0.25	0.25							
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)		
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数 9	4	1	1	1				8	2	13
	定点当り 0.90	0.40	0.25	0.25	1.00				2.67	0.67	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数 21	14	9	9	1	1	1	1	11	3	35
	定点当り 2.10	1.40	2.25	2.25	1.00	0.50	0.50	0.50	3.67	1.00	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数										
	定点当り										

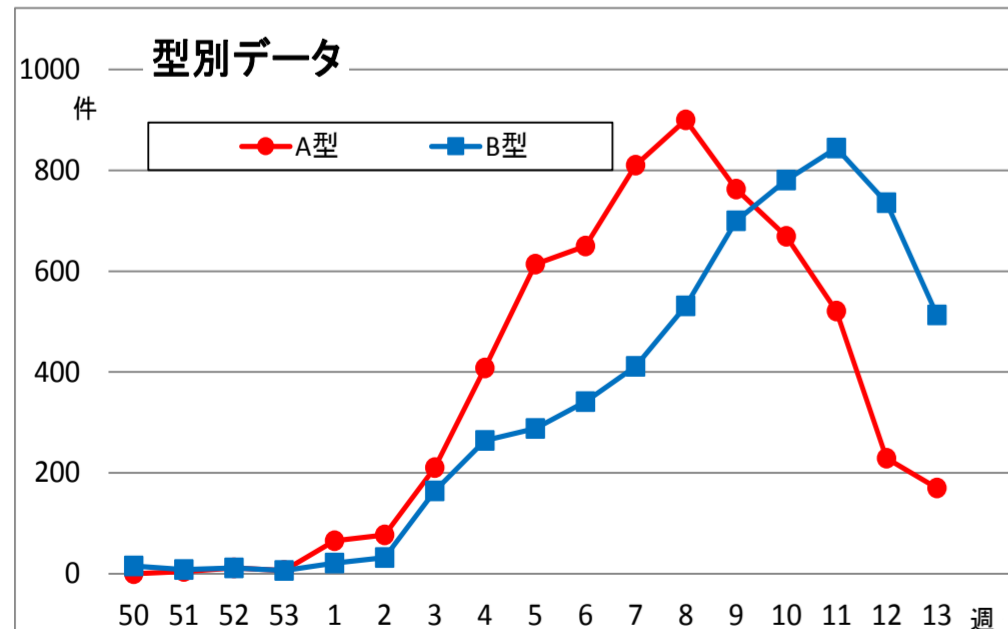
<トピックス>

【インフルエンザ情報】

インフルエンザの第13週の県全体の定点当たり報告数は14.7人で、第8週から継続して警報レベルとなっています。

・インフルエンザ
警報開始基準値:30人 警報終息基準値:10人
注意報基準値:10人
・第13週 定点当たり報告数
村山地区:15.1人 最上地区:12.8人
置賜地区:16.0人 庄内地区:13.8人 (県平均:14.7人)

1 迅速診断キットによるインフルエンザウイルスの陽性件数(第13週)

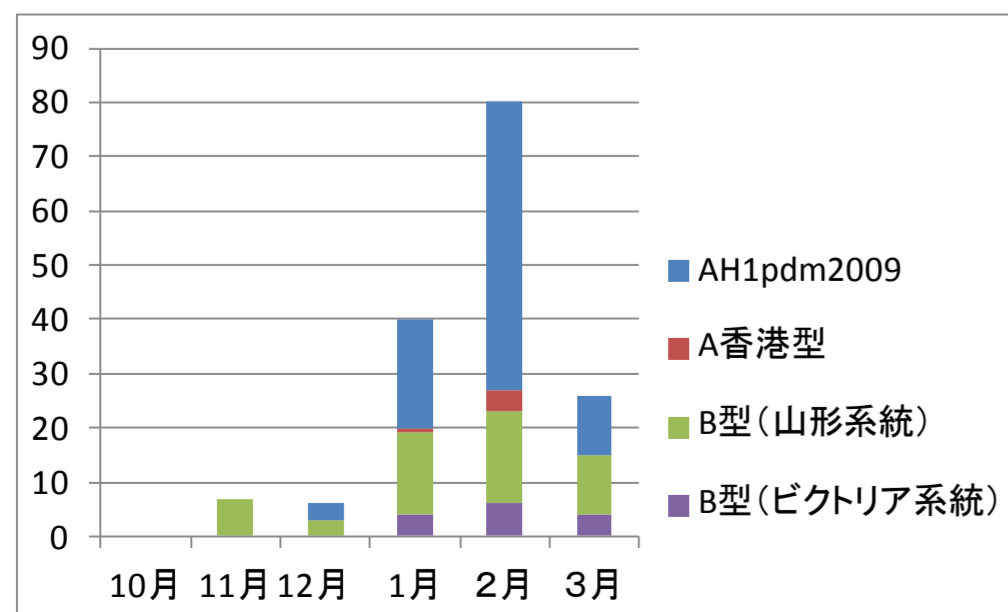


	A型	B型
村山	85	199
最上	18	46
置賜	57	104
庄内	11	165
合計	171	514

※うち、A型・B型重複感染:1名(置賜)

※型別不明:20件

2 インフルエンザウイルス分離状況(衛生研究所 3月30日現在)



・分離・検出数
(2015-2016年シーズン)

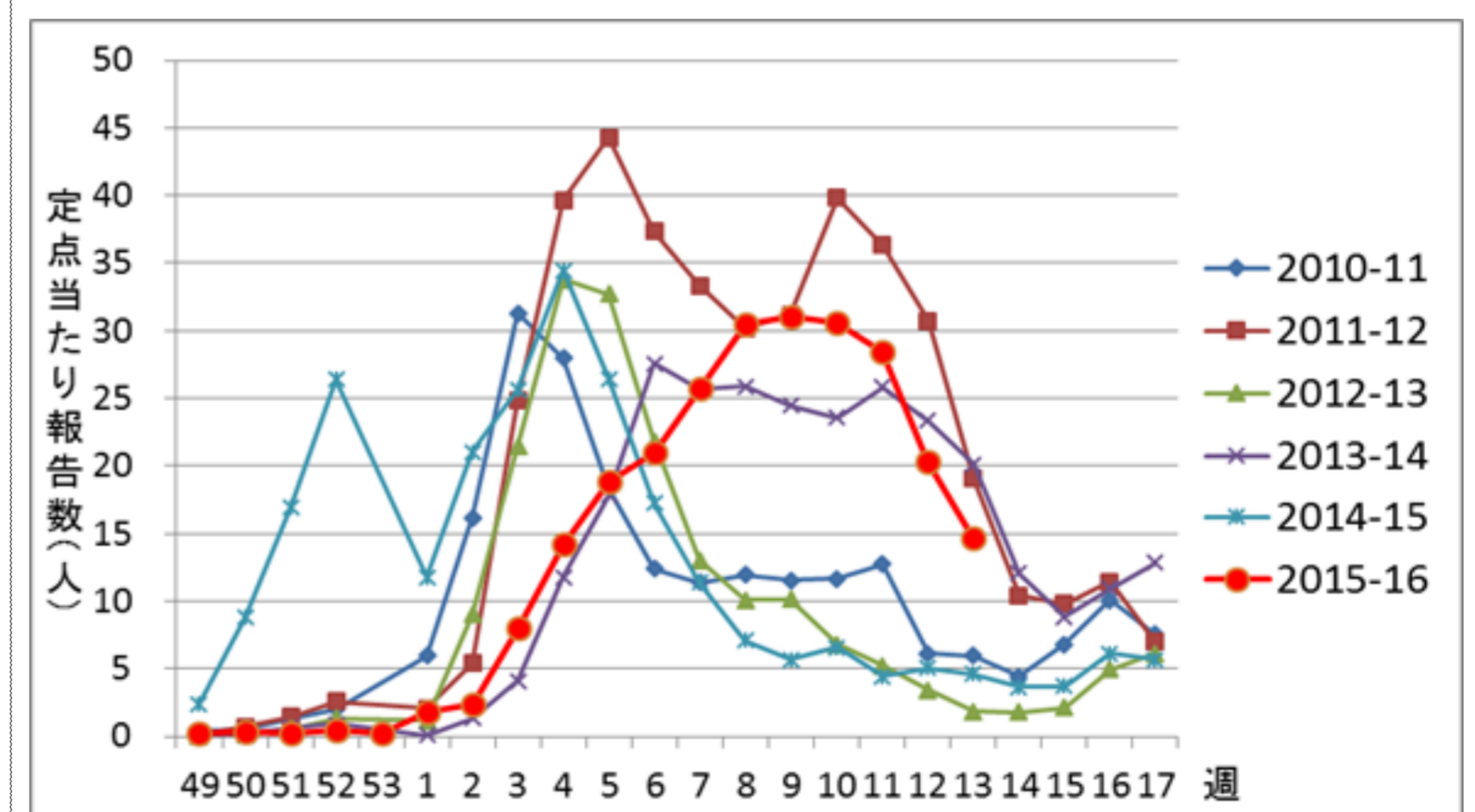
ウイルス型		分離・検出数
A型	AH1pdm2009	87
	A香港型	5
B型	B型(山形系統)	53
	B型(ビクトリア系統)	14

3 集団発生状況(県健康福祉企画課まとめ 第13週)

庄内地区:鶴岡市1件(保育園1)

第13週は、学校が春休み期間中であつたため、集団発生の報告数が少なくなっています。

4 定点あたり報告数の推移(過去5シーズンとの比較)



学校が春休み期間中ということもあり、4週連続で報告数が大幅に減少しました。しかし、定点あたり報告数は依然として警報レベルにありますので今後も予防対策をしっかりとることが重要です。

こまめな手洗いやマスク着用を心がけ、体調管理に努めましょう。
「かかったかな」と思ったら、早めに医療機関を受診しましょう。